

地域子ども・子育て支援事業 評価基準表

評価基準は A～C の3段階評価とする。

■第4章 評価基準

第4章においては、新たに設定する重点事業(6事業)の31年度目標に対して、どのような進捗であったか年度ごとに確認し、下記の評価基準 A～C に当てはめて評価する。

A 評価…31年度目標を達成した場合

B 評価…31年度目標は達成していないが、目標に対して推進が認められる場合

C 評価…31年度目標を達成しておらず、目標に対して推進が認められない場合 等

■第5章 評価基準

第5章においては、計画に記載している各年度の目標値・推計値が提供できたかどうか年度ごとに確認し、下記の評価基準 A～C に当てはめて評価する。

A 評価…各年度の目標を達成した場合

B 評価…各年度の目標は達成していないが、目標に対して推進が認められる場合

C 評価…各年度の目標を達成しておらず、目標に対して推進が認められない場合 等

■補 足

評価にあたっては、原則として上記の基準に基づき、目標値を達成できたかどうかを評価する。ただし、目標値と実際のニーズ量に乖離がある場合を想定し、毎年各事業においてPDCAを行いながら、評価時点で実態に合った評価を行う。

実態に合った評価(具体例)

	目標値	実際のニーズ量	実際の提供量(実績値)	評価
1	642人	650人 (目標値を上回る)	<div style="text-align: center;"> 650人 目標値642人を満たした↗ 実際のニーズ量650人を満たした↗ </div>	A
※提供量が目標値も実際のニーズ量も満たしている。				
2			<div style="text-align: center;"> 645人 目標値642人を満たした↗ 実際のニーズ量650人を満たさなかった↘ </div>	B
※提供量が目標値を満たしているが、実際のニーズ量を満たしていない。				
3			<div style="text-align: center;"> 630人 目標値642人を満たさなかった↘ 実際のニーズ量650人を満たさなかった↘ </div>	C
※提供量が目標値も実際のニーズ量も満たしていない。				
4	<div style="text-align: center;"> 650人 目標値642人を満たした↗ 実際のニーズ量630人を満たした↗ </div>	A		
※提供量が目標値も実際のニーズ量も満たしている。				
5	<div style="text-align: center;"> 635人 目標値642人を満たさなかった↘ 実際のニーズ量630人を満たした↗ </div>	B		
※提供量が実際のニーズ量を満たしているが、目標値を満たしていない。				
6	<div style="text-align: center;"> 620人 目標値642人を満たさなかった↘ 実際のニーズ量630人を満たさなかった↘ </div>	C		
※提供量が目標値も実際のニーズ量も満たしていない。				

※上記は一例であり、事業によっては上記具体例に当てはまらないものもあるため、事業ごとに評価を判断いただくことになります。

※教育・保育の部分の評価につきましては、資料4をご覧ください。